

県政への反映状況（令和５年度「県政への提言」）

<令和５年度に取り組んだもの及び令和６年度の実施状況>

● プレミアム交通券について

岡山県独自のプレミアム交通券の令和５年度分を発行する予定があるのであれば、バス、路面電車以外に県内のＪＲ線の鉄道でも使える仕様にし、公共交通機関の利用促進をするべきだ。

⇒ 令和５年度は、プレミアム交通券の発行はしていませんが、ＪＲ在来線の利用促進事業として、各種データ分析を基に、鉄道利用の機運醸成や新たな利用者獲得につながるキャンペーン事業を実施しました。

引き続き、バスやデマンド交通等の二次交通の改善も含め、効果的な公共交通機関の利用促進に取り組んでまいります。

（県民生活交通課）

● 芸備線の存続について

芸備線について、災害時の国家安全保障戦略として存続を主張し、安全保障の予算からサポートしてはどうか。

⇒ 芸備線については、令和６年３月に設置された芸備線再構築協議会において、利用者の利便性や地域への波及効果など芸備線自体の価値を追求するため、芸備線やその沿線の現況を把握する調査を行うなど、より利便性の高い公共交通の実現に向けた最適な交通手段の在り方について検討してまいります。

（県民生活交通課）

● アリーナ建設について

アリーナ建設について、岡山市が旧市営住宅跡地建設という大前提を外さない限り、県は市の要請を受け入れるべきではない。建設を希望する岡山市が費用を負担すべきであり、岡山県が負担するのは筋が違うのではないかと。財源も限られており、既存の競技場を活用すれば良い。その予算があれば、防災対策や福祉の充実、老朽化施設等の補修も可能である。岡山市は優先順位を間違えている。費用対効果が少ないならば、岡山県は建設費の負担を断るべきである。

協力できるところは協力し、定期的に話し合う場があると理想的である。

⇒ 新アリーナ整備については、経済団体からの整備要請を受けた市において、検討を進められ、判断されたものです。

県は、新アリーナ整備に関与しない旨を市へ回答したところであり、それを受け、市単独での整備を判断されたものと認識しております。

施設が整備されれば、県民にとってスポーツ施設が増えることとなり、ジップアリーナとの利用調整も含め、運用にあたっては、県としてもしっかりと連携・協力してまいりたいと考えております。

（環境企画課）

● **ほっとパーキングおかやまについて**

ほっとパーキングおかやまについて、負担の大きい多胎児の場合、妊娠初期からの利用開始と期間延長をお願いしたい。

⇒ 令和6年4月から、多胎児の場合は、利用の始期を妊娠7ヶ月から5ヶ月に、終期を産後1年から産後3年に拡充しました。
(障害福祉課)

● **花粉対策のPRについて**

岡山県は、以前から花粉対策に取り組んでいるが、もっとメディアに宣伝してはどうか。

花粉の少ない種類の樹木植林を、知事が率先して行っている点などを全国にアピールして欲しい。

⇒ 令和6年5月に本県で開催の第74回全国植樹祭において、天皇陛下が少花粉スギ・ヒノキをお手植え、お手播きされるとともに、知事挨拶やECO&MOKハレひろばで少花粉苗木の展示等を行うなど、テレビ、ラジオ、インターネット、SNS、ポスター、配布資料等、様々なメディアを通じ、全国に少花粉苗木のPRを行いました。

また、花粉の少ない森づくりに関する普及啓発グッズを作成・配布しており、県内外での各種イベント等においてPRを行っています。

(治山課)

● **井原大橋の安全対策について**

井原市の小田川を渡る国道486号の井原大橋は、歩道の構造が危険である。

橋の大規模改良が求められるが、当面の対策として、注意喚起の看板や路面表示の設置での対応が望まれる。

⇒ 井原大橋の安全対策として、ポストコーン（車線分離標）を設置しました。
(道路整備課)

● **倉敷インター北の歩道の危険箇所について**

倉敷インターの北、山陽新幹線との交差付近の歩道が狭くなる部分が、自転車通行者にとって危険であるため、改善して欲しい。

⇒ 自転車の運転者に対し、歩道が狭くなることをより早い段階で知らせるため、幅員減少を知らせる看板を設置しました。
(道路整備課)

● **収入証紙廃止後の納付方法について**

収入証紙廃止後の納付方法について、開庁時間外にも納付可能な仕組みを構築すべきである。

⇒ 手数料の支払方法については、各手続担当課が電子申請サービスによるオンライン納付や収納専用窓口のPOSレジでの納付など、各手続きに応じた方法を採用しています。

引き続き、開庁時間外でも対応可能な電子申請サービスの対象手続の更なる拡大

に取り組んでいくとともに、令和 6 年度においては、より利便性の高い支払方法を検討し、実施することとしています。

(会計課)

● 県立図書館年報について

岡山県立図書館の年報について、職員一覧が掲載されているが、組織図、各部門の人数さえ分かればよく、無防備に個人名を掲載する必要はないのではないか。

⇒ いただいたご意見を参考に、令和 5 年度年報（令和 6 年度発行）から、職員一覧は掲載しておりません。

(教育委員会)

<令和 4 年度以前の提言で令和 5 年度に取り組んだもの及び令和 6 年度の実施状況>

● 子育て支援パスポートについて

子育て支援パスポートについて、ほとんどの県で 18 歳未満が対象になっているのに対し、岡山県は小学生未満が対象になっていることから、対象年齢を拡大してほしい。

⇒ 令和 6 年 1 月から、アプリ版の運用を開始するとともに、対象年齢を 18 歳未満に拡大しました。

(子ども未来課)

● マダコのリソース保護について

マダコについて、今後は遊漁と漁業の住み分けを図る方針とのことだが、一部にだけ利益が出るような中途半端な施策でなく、誰から見ても公平な内容としてほしい。

⇒ 令和 5 年度から 2 カ年の計画で、「岡山県海面におけるマダコ遊漁実態調査」を実施しています。今後、得られた調査結果を活用し、漁業と遊漁が共存できる形を検討することとしております。

(水産課)